

# 朝食時間変更による 職場環境改善提案

医療法人慈心会 老健施設 寿恵苑

**提案内容：**朝食時間を 7:00 → 7:30 に変更

**対象：**厨房・介護・看護（全職種横断）

**日程：**試行→評価→本導入の段階導入を想定

✓ 処遇改善IIの職場環境改善達成

✓ 採用力向上

✓ 業務負担軽減

✓ ケア品質向上

# 提案の概要

## 変更点と狙い

### ↔ 変更点

朝食提供: 7:00 → 7:30

厨房 出勤: 5:30 → 6:00

介護 出勤: 6:30 → 7:00（早出）

看護 出勤: 7:00 → 7:30

### ◎ 狙い（メリットを最大化）

求人が集まりやすくなる: 早朝負担の軽減を求人票で強く訴求

職員の負担軽減と休憩確保: ヒヤリ・ミス低減に寄与

地域標準との整合: 鹿児島県・沖永良部の他施設も7:30を採用

### i 前提条件

R7年1月比で介護職員が +4名 : 朝帯の再配置余地あり

処遇改善IIの 必須項目 である職場環境改善に該当

# 処遇改善IIとの 関連

## 必須項目の実効策

### 📌 位置づけ

処遇改善加算IIの「職場環境等要件」に合致：

- 働きやすい労働環境整備
- 健康管理
- 休憩取得促進
- 業務改善の実施

### ✓ 実効性

**全職種で一律に早朝負担を緩和**：公平性と透明性を確保

**睡眠時間の確保**：健康維持・欠勤/体調不良の予防に効果

**休憩の計画取得率向上**：定着率向上に資する

**慌ただしさの軽減**：誤薬・転倒リスク・ヒヤリハット減少

### 📖 制度への適合性

処遇改善加算IIは **職場環境改善の取り組みが必須条件**

本提案は**具体的・測定可能な改善施策**として監査対応も万全

朝食時間変更は**最小の投資で最大の職場環境改善効果**が期待できる

# メリット①

## 求人力の向上

### ㊦ 採用市場での優位性

県内・島内の標準に適合: 多くの施設が朝食7:30を採用 → 求職者の期待に合致

求人広告の訴求ポイント: 「早朝シフトの過度な負担なし」を求人票のトップに強調表示

ワークライフバランス: 朝の準備時間に余裕 → 育児・通勤の負担軽減をアピール

### ◎ 想定効果（目安）

応募数の増加: 求人当たりの応募数 +20～30%、紹介会社経由の打診増

応募層の拡大: 子育て世代／夜勤専従／ダブルワーク層の応募間口拡大

定着率向上: 入職後の早期離職抑制、内定辞退率の低下

+25%

応募数向上

+15%

子育て世代応募

-10%

内定辞退率減少

### 👤+ 求人効果を最大化する方法

求人票改訂: 「朝食7:30」の特徴と朝の時間帯の余裕を前面に

既存職員の口コミ活用: 「働きやすくなった」実感を採用活動に活用

SNS発信: 職場環境改善の取り組みとして対外的にアピール

# メリット②

## 介護の業務負担軽減

### 具体的な軽減項目



#### 起床～整容に余裕

一斉対応の時間的余裕が生まれ、**転倒リスク**と**駆け足対応**が減少します



#### 食前内服と嚥下体位の準備時間確保

丁寧な対応が可能になり、**誤嚥・ムセの予防**につながります



#### 配膳・食事介助の分散化

食事介助開始の**立ち上がり**を分散でき、**ナースコール**や**事故対応**の余力が生まれます



#### 夜勤申し送りと朝食準備の重複緩和

情報共有と食事準備の**ダブルタスク**が軽減され、**確実な引継ぎ**が実現します



#### 早朝のトイレ誘導・失禁対応

慌てずに誘導・対応が可能となり、**皮膚トラブル**を抑制できます



#### 休憩の計画取得が現実的に

時間的余裕が生まれ、**疲労の蓄積抑制**・**メンタルケア**につながります

朝のゆとりは → ケアの質向上 → 利用者様の満足度向上 → 職員の働きがい向上

# メリット③

## 厨房・看護の品質と負担軽減

### 厨房

出勤5:30→6:00で**睡眠時間確保**: 離職抑制と段取りの安定

**仕込みの精度向上**: 朝食の提供品質の均一化

朝食準備に **余裕** が生まれ、適温での提供率向上

### 看護

出勤7:00→7:30で早朝ラウンドと内服準備の質向上

**誤薬/ヒヤリハット**の低減期待（特に血圧薬などの朝食前内服）

利用者の状態観察に **集中できる時間** の確保

### 全体

**朝帯のコミュニケーション時間**が増え連携が円滑に

**引継ぎ情報の質向上**: 急ぎ・焦りの中での情報伝達を回避

職種間の **協力体制** が強化され、チームワーク向上

# メリット④

## 業界標準への適合

### 🌐 外部整合 - 地域標準との一致

**鹿児島県内の介護施設:** 朝食7:30が主流・標準的な提供時間

**沖永良部の他施設:** 7:30を採用→地域内で統一された環境

**利用者・家族の受け入れやすさ:** 地域標準に合わせることで違和感なく説明可能



### 🔄 内部効果 - 業務の標準化

**新人教育の効率化:** 標準化されたタイムスケジュールで教育がスムーズに

**多施設経験者の適応:** 他施設と同じ時間帯のため経験を活かしやすく

**対外的な説明が容易:** 採用面接・監査対応・家族面談で「地域標準に準拠」と説明できる

**利用者のリズム:** 地域内で転所された方も生活リズムを崩さない

# 現行と変更後の スケジュール比較

1日の流れを時間軸で見る

医療法人慈心会  
老健施設 寿恵苑

## 現行スケジュール



## 変更案スケジュール



💡 **工夫ポイント**：入浴介助の並列化と手すり消毒のゾーン分割により、全体の遅れを最小限に抑制。介護人員が増員されている利点を活かし、朝食時間を30分遅らせても昼食への影響を出さない運用が可能です。

+ **メリット**：朝の業務に余裕が生まれ、ケアの質が向上します

⚙️ **調整**：4週間の試行期間で微調整を行い、最適化します

※入浴は一日16～18人が対象



# 懸念事項と対策

## 業務影響を最小化

### ⚠ 懸念

**通所入浴の遅れ:** 本館入浴の後に通所入浴を行うため、時間への影響

**早出休憩の確保困難:** 11:30からの休憩時間が確保できない可能性

**消毒・洗濯確認の圧迫:** 午前中の時間が限られ、消毒や名前確認が困難に

### 💡 対策

**通所:** 送迎時刻を5～10分調整し本館浴と干渉回避

**早出休憩:** 分割休憩と交代要員の時限配置（朝帯0.5名相当）

**手すり消毒:** **ゾーニング** で一部を昼食後へシフト

**洗濯物の名前確認:** 午前の隙間作業→午後アイドルタイムへ移管

**人員配置:** **R7年1月比+4名** を朝帯に再配置しピーク負荷を平準化

**検証体制:** 4週間の試行でKPIモニタリング→必要に応じ再調整

# 実施による期待効果

## KPI案

### 📊 定量目標（目安）

👤+ 応募数: **+20～30%**

🕒 早出残業時間: **▲15%**

🛖 休憩取得率: **+20pt**

⚠️ 早朝帯ヒヤリハット: **▲10%**

👤- 離職率: **▲5pt（年次）**

🏠 体調不良・欠勤: **▲10%**

### ❤️ 定性効果

**慌てない介助でケア品質向上:** 時間的余裕が生まれることで、丁寧な介助が可能に

**職員満足度の向上:** 早朝帯の負担軽減によるワークライフバランスの改善

**家族説明の納得感向上:** 地域標準との整合により、利用者・家族への説明がしやすく

### 🔍 検証

試行期間: **4週間**

週次でのデータ収集とフィードバック会議の実施

評価会を経て本導入可否を判断

導入後も **3か月ごと** に効果測定を継続

# まとめと次のステップ

## 提案実現へのロードマップ

### ✓ まとめ

**朝食7:30は高メリット:** 採用力・負担軽減・安全性・地域整合の観点で優位性が明確

**職場環境の具体的改善:** 職員全体の負担軽減と休憩取得率の向上

**処遇改善II要件に合致:** 職場環境等要件の実効策として適切

**長期的な効果:** 離職抑制・求人力向上・ケア品質の維持向上に貢献

### ≡ 次のステップ

- 1 **関係部署で合意形成:** 厨房・介護・看護・通所間の調整と意見集約
- 2 **試行計画の策定:** 期間・対象ユニット・KPI・当番表の具体化
- 3 **利用者・家族への周知:** 理由・安全配慮・影響最小化策を明示
- 4 **試行開始と検証:** 週次レビュー→課題抽出→改善反映のサイクル
- 5 **本導入判断と標準化:** 運用手順書の改訂と全体展開